

2025年12月24日

インフラメンテナンス国民会議市区町村長会議

東北ブロック幹事 中村 尚道 様

土木学会東北支部 東北インフラマネジメント委員会

委員長 石川雅美

### インフラメンテナンス国民会議市区町村長会議 東北ブロックへの提言事項（案）

地方におけるインフラの劣化は、橋梁、道路、トンネル、上下水道等喫緊の課題となっています。インフラの劣化あるいは老朽化に伴い、安全性の低下や維持管理コストの増大が懸念されており、早急な対策が求められています。(公社)土木学会東北支部内に設置された東北インフラマネジメント委員会においては、市区町村が抱えている問題の現状を把握し、より効率的にインフラメンテナンスを実施するための具体的課題について検討を続けております。本委員会の成果に基づき、以下を提言します。

#### 【技術的な課題の解決策】

- ・インフラメンテナンス国民会議市区町村長会議東北ブロック、国土交通省東北地方整備局および土木学会東北支部の3者で「インフラの維持管理技術」に関する連携協定の締結に向けて、お互いが積極的に協力・調整を図る。これにより3者が一体となって、東北地域におけるインフラの適切な維持管理を実施する上での技術的な課題の解決を目指す。

#### 【維持管理予算】

- ・各自治体が実施したインフラの点検結果を踏まえ策定した長寿命化修繕計画に関わる事業について、自治体が確実に実施できるよう、国に対して安定的かつ十分な予算・財源の確保を求める。

#### 【発注手続き等】

- ・大規模補修や難易度の高い補修工事について、効率的・効果的に事業が行えるよう、複数年契約での設計・施工や設計時に施工者の技術力を反映できるECI方式などの多様な契約形式を積極的に活用すること。
- ・補助金手続きにおいては、継続的な財源の確保とともに、複数年契約や今般の物価上昇等を踏まえた補助金の増額など、国に対して円滑かつ柔軟な対応を求ること。

#### 【人材の確保・職員の交流】

- ・将来にわたり地域のインフラを維持管理する人材を確保できるよう、各自治体は、教育委員会および建設会社などと連携して、高校生やその保護者、さらには小・中学生を対象に「地域インフラの大切さ」などに関する教育を取り入れる「仕組み」を検討すること。
- ・維持管理業務に関して、東北の自治体の職員間で、これまで以上にお互いの情報の共有を図ることを目的とした委員会等の立上げを検討すること。

#### 【新技術の積極的採用について】

- ・維持管理業務の効率化が図られるよう、DX化の推進や新材料・新技術の活用を積極的に進めること。